

(仮訳)

**第5回日本・アラブ経済フォーラム**  
**「イノベーションと創造に向けた日アラブの新たな地平」：共同プレスリリース**  
**2024年7月11日**

第5回日本・アラブ経済フォーラムは、2009年に日本とアラブ連盟との間に交わされた覚書の下に、2024年7月10日及び11日に日本政府主催で東京にて行われた。本フォーラムは日本とアラブ諸国の閣僚、政府職員、経済界を含む幅広い参加を得た意義深いものであった。アラブ諸国はアフマド・アブルゲイト・アラブ連盟事務総長及びサーレハ・ハラーブ・シェ・ヨルダン・エネルギー・鉱物資源大臣（アラブ連盟経済社会理事国議長）が代表し、日本側は上川陽子外務大臣と齋藤健経済産業大臣が代表した。

日本及びアラブ諸国の幅広い分野から計約700名が本フォーラム及び関連行事に参加し、アラブ諸国からは10名の閣僚級の参加者が出席した。本フォーラムにおける議論を通じ、双方は貿易、投資、エネルギー、科学技術、人的資源開発等の分野や気候変動といった新たな課題を含め、経済関係を深めていく重要性で一致した。

10日に行われた官民経済カンファレンスは、多くの閣僚、政府職員、経済界からの参加を得て、アラブ諸国から日本企業への投資を促進し経済関係を多様化することを含め、双方の経済関係を深化させることの重要性で一致した。双方は経済協力の現状とこれまでの取組を精査し、経済多様化やイノベーション、エネルギー、気候変動、環境配慮製品、水資源、廃棄物管理、水素、アンモニアといったセクターや新興技術、通信、AI、サプライチェーンの強靱化といった分野での協力を促進し支援するための議論を進めていくことで一致した。

11日に行われた閣僚会合では、双方は産業開発、エネルギー・経済安全保障、高品質のインフラ、デジタル・トランスフォーメーション（DX）、気候変動への対応、低炭素エネルギー、省エネ、持続可能な開発目標（SDGs）、資源開発等の分野を通じ、持続可能かつ強靱な開発を共創することについて、意見交換を行った。日本からは、「イノベーションと創造に向けた日アラブの新たな地平」というテーマの下、持続可能かつ強靱な経済を実現するために、アラブ諸国の政府や経済界と協力していきたい旨述べた。双方は上記を含む諸分野における日本とアラブ諸国との間での経済関係の強化を歓迎するとともに、更なる協力を実現していくことで一致した。

本フォーラムの終わりに、双方は第6回日本・アラブ経済フォーラムを2026年にアラブ地域のいずれかの国で開催することを決定した。